

# なきごえ



1968

6

大阪市  
天王寺動物園協会

# 動物の紹介 [第22回]

## ムクドリ

ムクドリという名前からはあまりスマートな印象は浮んできません。それはこの鳥の鳴声が悪いので集団をつくったときに大変にそうぞうしく聞えるので行儀が悪いような印象を受けるからでしょう。

ムクドリはむくの実を好んで食べるので、ムクドリとよばれるようになったのです。

この鳥はアジア東部に広く分布していて冬には南の方に渡ります。

我国では全国的に多く生息していて、秋になると喧ましい声でギョル、ギョルと鳴きながら大群をつかって移動しますが4月頃には又やって来ます。東北、北海道では夏しか姿を見せません。

このムクドリも大阪市内の樹木の多いところにはよく姿を現わします。動物園の園内にも大群と言う程ではありませんが毎年20羽～30羽程の群でやって来ます。真冬にも1～2羽で姿を現わすこともあります。

食生活は木の実ばかりでなく、昆虫やその幼虫をも好食します。樹木に乏しい大阪市内は、彼等にとって絶好の住家とはいえませんが、昨年は意外に多く大阪市内に姿を現わしたようです。

それは市内の阿倍野区や東住吉区あたりの樹木の多い住宅地から「喧かましい」「排糞に困る」何か追払う方法がないものかと再三電話での問合せがありましたので、その鳥の特徴を聞くことによってこのムクドリの集団であることがわかりました。

ムクドリは洞穴や人工巣にもよく営巣します。ムクドリは別名を豊年鳥とも呼ばれています。それはブランコマツケムシ、マツケムシ、などが大発生するとどこからともなく大群で集って来て、ケムシをむさぼり食べて全滅させた記録が数々あるからです。汚水処理場などで発生するハエの幼虫も食べることもあるので、市内に飛来して来たのは上述の何れかの原因があったからだと思います。



手にのるムクドリのひな

ます。いずれにしても集団でやって来る、ガラ付き屋で喧ましい鳥ですが、この益鳥を伸び伸びと生活出来る環境を与えてやりたいものだと思います。

南の鹿児島市では仲間のコムドリが9月～10月頃、毎朝、日の出頃から30分位に大群をつかって南に向かって出発する様子は、壮観そのものだと言われています。

動物園では時々このムクドリの寄贈を受けます餌は五分の摺餌で飼っていますが良く育ちます。籠で飼われたムクドリも仲々よく慣れてくれあまり物おじしないようです。それもその筈ムクドリの仲間を代表するのに、人によく慣れ人まね上手のきゅうかん鳥がいますから性格的にも似通ったところがあるのでしょう。(松岡 恵爾)

### 表紙の写真説明

カンムリツル、アフリカの中部にすんでいます。頭の上にかたい毛が扇をひろげたようになっているところからこの名があります。寒さにも強いので、世界の動物園に広くかわれています。

### なきごえ 6月号 もくじ

動物の紹介(ムクドリ).....	2
ラクダの出産.....	3
動物園グラフ.....	4. 5
動物を訪ねて(リスと遊ぶ).....	6
動物園ニュース.....	7

## ラクダの出産

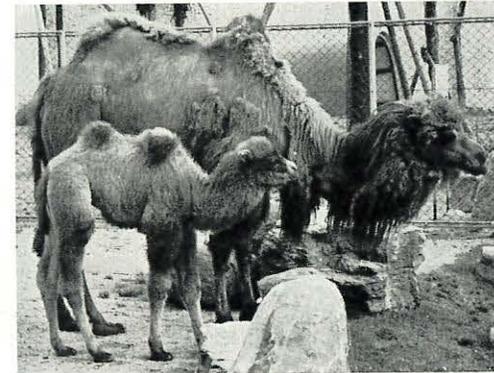
3月10日待望のフタコブラクダの赤ちゃんが出産しました。出産当時赤ちゃんのコブは袋だけペンシャンコで体色は灰褐色で胴体に比較して四肢が太く長く体長1.5メートルでした。1月の末に乳房の変化に気付き妊娠しているのではと、興奮しながら母獣の動静を観察する日が続きました。2月に入って胎動らしきものがあり乳房も以前より発育するのがみられ、妊娠と思われましたので2月12日に産室へ収容しました。分娩までは日があるようでしたが、母獣を産室に慣らすために早く収容しました。産室へ収容してからは心配なので私もラクダと共に寝泊りする日が続きました。

収容した当時は産室に慣れていないためか、不安な鳴き声を発し室内を落ち着きなく歩き回り排尿回数も増えました。時々藁の上に座り出産姿勢を示すので私も眠れず落ち着きませんでした。座った時など、後部に重心が集中するので陰部より胎胞らしきものが見えました。時々陣痛らしいものが起り産道に胎児の動くのが見られました。

今までは、確実な妊娠兆候も確認されませんでした。交尾の日が判明していると次回発情がなければ、交尾の日から13ヶ月算出すれば出産予定日が決まりますが、このラクダの場合昨年7月現地モンゴルから入園したもので、このラクダに関する繁殖記録が無く妊娠の兆候が見られるまでは、受胎の事実は知りませんでした。野生動物の場合は家畜動物ほどははっきりとした兆候が見られません。

家畜動物の場合、発情の際でも、その兆候ははっきりと見られます。私は今までは家畜動物を飼育管理してきましたので出産に臨む機会も多くありましたが、野生動物であるラクダの出産は初体験です。2月も出産せず過ぎ去りました。3月に入っても出産の兆候はあるのですが分娩せず、私の

方が興奮と、あせりで落ちつきませんでした。しかしだんだん気候が良くなり青草の繁茂する頃に出産の方が良質の粗飼料を充分母獣に給与し、乳汁の分泌を多くして健康な仔を育成する事ができます。濃厚飼料のみ多量に給与することは草食獣の健康を害し、繁殖障害を起すものになります。3月10日午前9時無事出産しました。後産も停滞する事なく娩出され、あとは哺乳が確認出来れば成功です。早速、母獣に麩汁を給与しました。3時間を経過しても仔は起立出来ず、分娩の際に足を痛めたのではと案じました。他の草食獣なら、もう哺乳している頃なのです。6時間経過した頃から起立しようと懸命になるのですが駄目です。後肢から立って前肢を伸す時倒れるのです。母親も懸命に支えている動作を見ると仔の生命力と母親の母性愛には感動して私まで手に汗を握り応援しました。ひよろ、ひよると母親の乳頭を探るのですが完全に歩行出来ず倒れ又繰返し、母親も乳頭を仔の口へ近づけようと懸命になり、出産時より12時間を経過してからやっと哺乳しました。この時初めて出産の成功を感じました。母乳に勝てる乳はありません。



親と運動場に出て遊ぶ赤ちゃんラクダ

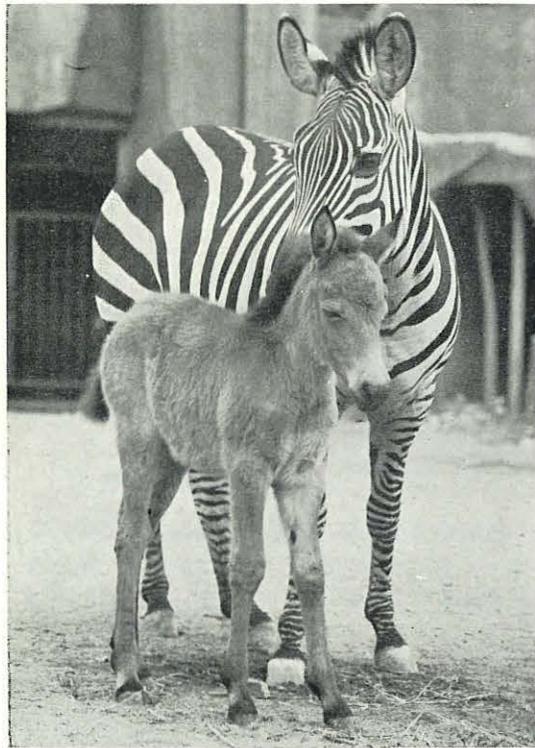
特に初乳の分泌される期間に哺乳しないと病気に感染する事が多いのです。初乳は仔の消化器を掃除し胎便の排泄を促し、体内の有害細菌による感染を防ぐのです。無事出産に成功、母仔の温い愛情を見ていると飼育係の喜びを深く感じました。今では順調に発育してコブも二つ脂肪が貯り、体色も茶褐色に変化してラクダらしい体型になりました。朝産室から運動場へ出してやると、運動場を走り回っています。授乳回数も減り青草を少し食べるようになりました。掃除するため運動場へ入ると走って来て私の衣類、顔等に吸いつき可愛いものです。今後共順調に育ってくれて優秀なラクダにしたいと頑張っています。母獣の健康管理もたいしたことなく次回の出産を楽しみに、生涯を動物飼育に専念して優秀な動物を育成しようと張りきっています。(三浦 正明)

# 動物園グラフ

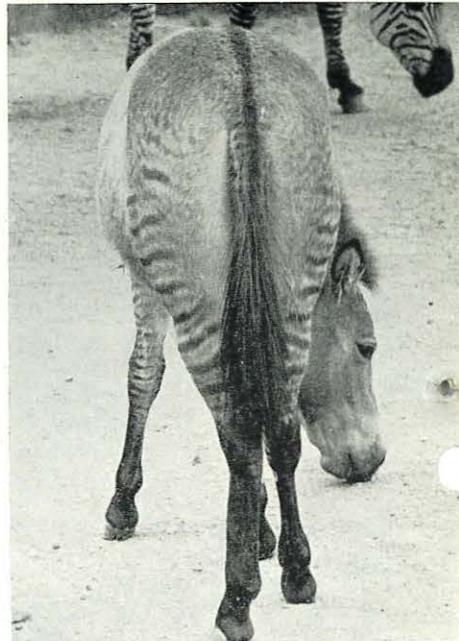
昨年10月23日トカラウマのおすとグラントシマウマのめすの間に赤ちゃんが生まれました。

生まれたときはほとんどしまもようがありませんでしたが、このごろはっきりと現われてきました。今後の成長やしまの現われ方が大変興味があります。

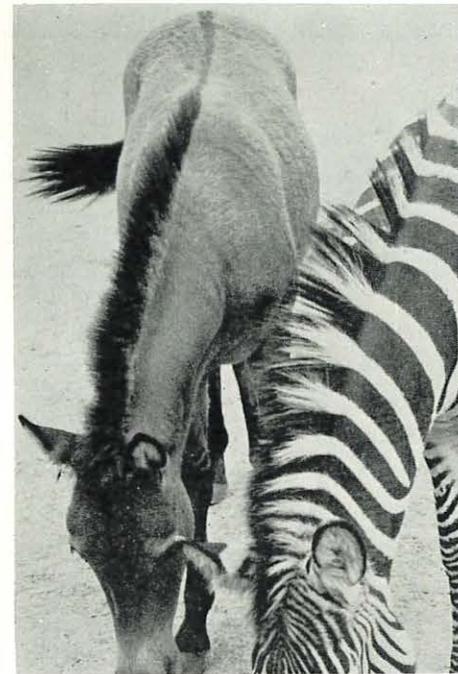
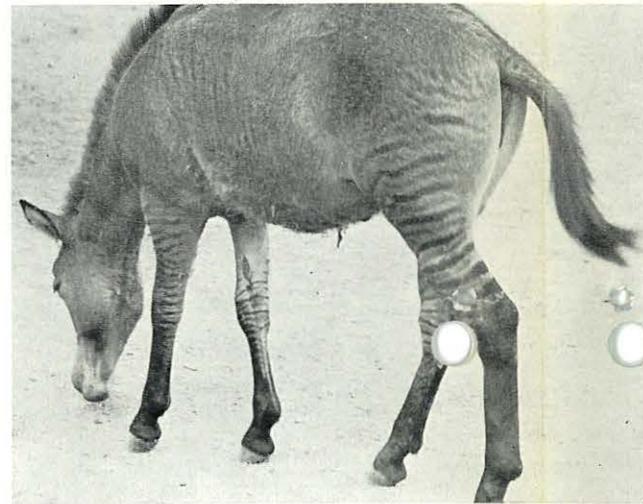
今日は、この雑種のうまを御紹介します。



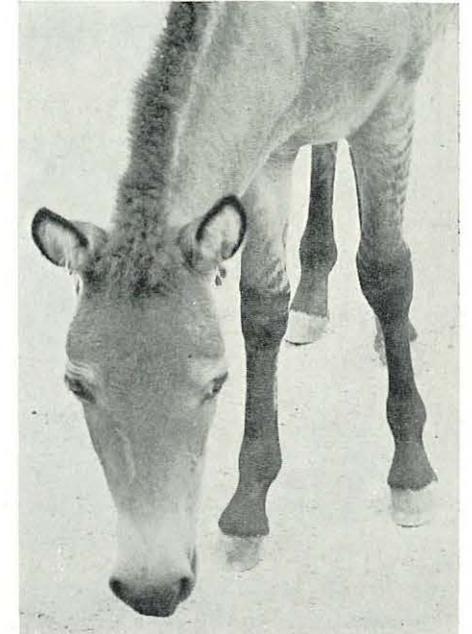
← 昨年10月23日生まれた当時の写真。ほとんどしまもようがありません。



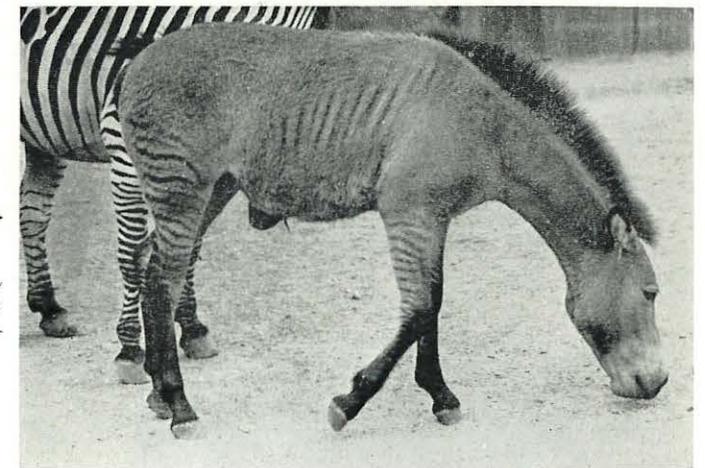
↑ 後肢はきれいなしまもようが出てきました。しまは濃いしまとうすいしまが見られます。



↑ たてがみはしまうまのように立っています。



↑ 耳はしまうまそっくり、また、頭の上の方にもうっすらとしまがでています。



→ 右体側 脇腹のあたりにもしまもようがありと浮んできています

← 左側より見たところ。

## 動物園日記

- 4/26. シュバシコウが2羽ふ化しました。また、この親から第1回目に生まれた子供も今年から産卵しました。
- 28. ヨーロッパオオカミのおすが右前肢に咬傷を受けたので治療檻に入れて治療しています。
- 29. シュバシコウのひなが2羽ふ化し、計4羽ふ化しました
- 5/ 1. 春の動物園まつりが始まりしました。
- 4. キョンが出産しました。
- 5. 好天に恵まれて子供の日の催しものゝ象の目方を計る会が行われました。市長も来園して子供たちと楽しい一時を過ごしました。

- 6. 4月29日ふ化したシュバシコウ2羽が数日間の雨と前にふ化したひなに食い負けして死にました。
- 10. モモイロペリカンが急に食欲がなくなり、神経症状を出して死にました。
- 12. キョンの赤ちゃんは、哺乳がうまくいっていかず衰弱して死にました。
- 17. リカオンのおすが肺炎を起して死にました。
- 19. パーバリーシープの仔が前肢の蹄冠炎を起して加療しています。

- 動物の人気投票の発表会がありました。第1位はゾウで次はサル・キリンでした。
- 20. カバのめすを今度完成した屋外運動場に初めて出しました。今まで慎重に慣らしていたのです。
- 22. ミノオより来園したニホンザルの1頭は感冒にかかっていたのですが、肺炎を併発して死亡しました。
- 23. 今年初めてのニホンシカの赤ちゃんが生まれました。今年4～5頭の赤ちゃんが生まれるでしょう。
- 24. チンパンジー舎の屋外運動に糞防けのアクリライトの壁が作られました。これは、おすのチンパンジーのリカ君

- がお客に糞を投げる癖がついているために苦肉の策として作られたものです。
- 29. シュバシコウのひなが1羽ふ化しました。これは今の連続5回ふ化の両親の孫にあたります。2番目のニホンシカの赤ちゃんが生まれました。
- 30. トラの赤ちゃんが2頭生まれました。

# 動物を訪ねて

## リスと遊ぶ

岐阜市千畳敷下  
岐阜観光索道株式会社

倉野 新蔵 さん

可愛いリスたちと、一しょに遊べたら、どんなに楽しい事でしょう。

この私たちの夢を実現したところが日本に唯一カ所岐阜県にあります。「う飼い」で有名な長良川の端にある岐阜公園のリス村がそれです。

この金華山一帯は、全山、珍らしい森林に覆われ、小鳥がさえずり、眼下には長良の清流が走るという誠に絶景の地で、都会のそよ音を離れ、暫しの憩を求めるには絶好の場所で、家族連れや遠足の小学生たちで賑っています。この附近には、

野生リスが 700頭位居ると推定され、去る昭和37年からリス村建設の作業が始まりました。当時、初代村長として活躍し、文字通り生みの親、育ての親が、倉野さんです。

先づ、捕獲したリス15頭を金網の小屋に入れ、リスとの対話が始まりました。

「リスを空腹にしておいて、ヒエヤトモロコシを持って座り込みです。始めは寄って来るところか、姿を消してなかなか出て来ません。それで

もだんだん、エサ欲しさに近づいて身近かになる様になり、手からエサを取る様になりました。こうして明けても暮れても座り続けること3年、その間、家へ帰った日は数える程しかありません。」

こうした地道な苦勞がやっと報われ、放飼する自信がついたのが昭和40年8月。喜びと期待に胸ふくらませ乍ら開村のため、リスたちを移動しました。

村は高さ 1.5メートルの鉄柵にこそ囲まれてい

ますが、面積 300㎡、美しい芝生と自然林とたくさんな彼等の住居がある立派で美しい村です。何よりも嬉しいことは、金網がなく、木々の梢の間から、澄み切った青空がスカッと見えることです。「最初はやはり駄目でした。逃げることは無かったのですが、環境が変わったせいか、客の姿が見えると皆、姿を隠してしまってなかなか出て来ません。それでも一年位経つとポツポツ慣れ始め、今では何の警戒心もなく、客の肩や手に、時には心臓の強いものはポケットの中まで入り込み、お菓子をねだると云う有様です。」

見ると、幼児たちの手や肩に群がり集まるリスたちの姿をカメラに収め様とアチコチで喚声があがっています。ほんとに人と動物と一体になった美しい風景です。「ここまで慣らすのに、ほんとに



(日本で初めて……山頂リス村)

動物を飼った人にしか判ってもらえないいろいろの苦勞がありました。トビやヘビから彼らを守るのは勿論、何より困ることは、客のいたづらです。柵を乗り越えて村に入り込み、リスを追い廻したり、蹴ったり、たゝいたり、又、やってはならないエサを与えたりするのでほんとに困ります。」切角の苦勞が人々の心ないいたづらのために水泡に帰するのです。日本人の公德心はまだまだ足りません。

私たちの動物園での毎日も、心ない客との斗いといっても過言ではありません。特にリスはチューインガムに弱く、腸につまって命を落すことが多く、そのために村内へのガム持ち込みは厳重に禁止されています。「リスは、ボスに従って行動するサルと違って、集団で飼い慣らす“完全な放飼”は難しいが、リスの好奇心を上手く利用して、将来は山のリスを慣らしたい。」とリス村の村長さんの夢は大きく広がるのでした。(中川道朗)

# 動物園ニュース

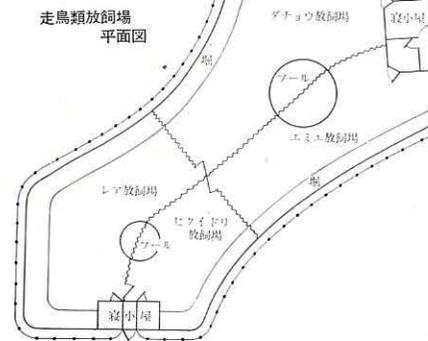
## ☆ シュバシコウが5年連続ふ化育雛に成功



両親は昭和36年に入園しました。39年に日本ではじめて産卵ふ化育雛に成功して以来、毎年2〜3羽のひなを育ててきました。そして今年も4羽のひながかえりしましたが、2羽だけが元気に育っています。また、今年、最初の子供が産卵し抱卵して5月29日2コのうち1コがふ化しました。

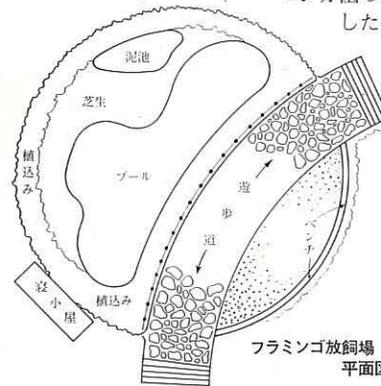
## ☆ 新設動物舎の御紹介

① 走鳥類放飼場 ヤギ舎のあとに建設中の走鳥類放飼場がこのほど完成しました。広さは約1,198㎡で堀と生垣によって見物客より分けられ、見やすいように工夫をこらしています。ここにはダチョウ、エミュー、ヒクイドリ、レアの4種が放飼される予定です。



## ② フラミンゴの池 新しいフラミンゴの放飼場がカ

モシカ園の西側に完成しました。従来のフラミンゴ池より1回り大きなものです。遊歩道もベンチもつけて動物にも人間にも住みやすく見やすい動物舎にしています。



## ☆ ニホンシカ誕生

今年例年より半月も早く南園ニホンシカ園で、ニホンシカの最初の赤ちゃんが生まれました。3日後にも



2頭が生まれ元気に育っています。今年はまだ2頭ほど生まれる予定でシカ園もにぎやかになるでしょう。

## ☆ メンヨウの毛刈り



今年も衣がえの6月1日に、暑い夏を迎えるためメンヨウたちの毛刈りをおこないました。10頭のメンヨウたちは次々と約15cmも伸びた毛を刈ってもらい涼しそうでした。1頭あたり約4kgの毛がとれ、これは背広1着分の量です。

## ☆ カバ夫婦放飼場に遊ぶ



昨年11月にカバのおすが入園して以来、ずっと寝室でめすとお見合の生活が続いていたカバ夫婦はこのほど完成した放飼場で一しょにもらい、プールに入ったり陸上で日光浴を楽しんだりしてすっかり夫婦仲もよくなり、繁殖も期待できると係は喜んでます。

# 先生！ 運動用具はそろっておりますでしょうか？

発育ざかりの現代っ子に必要な、とび箱、鉄棒など、情操教育と体力向上の手助けをする、数々の運動用具は、そろってお

りますでしょうか、安全性をモットーとし、運動器具の製作・設置をしているのが、長い歴史を誇る堺の木下製作所です。



創業・明治37年 文部省指定工場  
**株式会社 木下製作所**  
大阪府堺市鳳中町2丁目41  
TEL 0722 (62) 0341・0596

おしゃれ仲間の合ことば  
「テケ・テケ」  
を着よう！



テケ

テケ

あっちの友達、こっちの友達

みんな「テケ・テケ」を着ています。

色がすっごくきれいです。

あなたも「テケテケ」で

おしゃれをしてみましょう。

仲間の合ことば

思いっきり、遊べる服、

内外の子供服「テケ・テケ」を着よう！！



肌着から洋服まで

**シルバーオックス**

内外衣料製品株式会社